

タイトル「担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 久慈地方農業農村活性化推進協議会」

取材担当 久慈農業改良普及センター 加藤清吾

久慈地方農業農村活性化推進協議会では、（公社）岩手県農業公社の事業を活用し、新規就農者の確保・育成に取り組んでいます。

新規就農者確保に向け、関係機関・団体と連携し、4月～2月にワンストップ就農相談会を開催しています。また、県内外の就農フェアにも協議会としてブース出展しており、盛岡、仙台、東京のイベントで久慈地域の魅力をPRしてきました。

就農志向者・新規就農者に対しては、短期研修の事業を実施しています。就農志向者については、実際の栽培を見て体験し、先輩農業者の話を聞くことで就農予定品目について理解を深める機会となっています。新規就農者については、栽培管理・出荷調製の技術を学ぶとともに、先輩農業者とのつながりを深める機会となっています。

また、令和6年度には、農業に関わる若手女性研修交流会を開催し、若手女性農業者・新規就農者の仲間づくり・定着促進に取り組みました。令和7年度は、前年度のアンケートで要望のあった農業機械に関する内容で開催し、若手女性農業者や新規就農者は農業機械・農作業安全への理解を深めました。

協議会では、今後も公社事業を活用し、新規就農者の確保・育成に取り組んでいきます。



新・農業人フェア 2025 農業 EXPO
相談対応の様子（東京会場）



令和6年度久慈地域で農業に関わる
若手女性研修交流会